

陽性者の同居家族用抗原定性検査キットの無料配布について

新型コロナウイルス感染症の陽性者が急増し、発熱患者等に対応する医療機関のひっ迫が危惧されることから、このたび、医療機関の負担軽減、受診の流れの効率化等を目的に、医療機関で陽性と診断された方に対し、同居家族用の抗原定性検査キット（5テスト分。以下「キット」という。）を無料配布します。

濃厚接触者である同居家族の方に発熱等の症状が現れた際にご使用いただき、その検査結果をかかりつけ医にご報告いただくことにより、速やかかつ確実に必要な医療に繋がっていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いたします。

キットをご使用の際は、正しい結果が得られるよう、必ず使用方法をよく読んでからご使用ください。

検査結果が陽性になった場合

○まず、携帯電話などで検査結果を撮影し、画像を保存しておいてください。

※検査カセットに液を滴下してから15分で判定を行うこととなっており、20分以上経過した場合の結果は判定に使用できませんので、必ず15分経過時の写真を撮影してください。

○かかりつけ医に連絡を取り、自主検査で陽性になったことを報告してください。以降はかかりつけ医の指示に従って受診してください。

※診療にあたり、検査結果の画像を医師に提示し、確認してもらう場合があります。

※受診は、電話診療等の遠隔診療となる場合があります。

＜かかりつけ医が診療時間外で連絡が取れない場合＞

- ・症状が軽ければ、家庭内での隔離や消毒などの感染対策をとった上で、そのまま自宅等で安静にし、改めて診療時間内に受診してください。
- ・必要に応じて、発熱や痛みを和らげる市販薬（アセトアミノフェンなどの解熱鎮痛薬）をご使用ください。
- ・症状が軽い場合、あわてて夜間や休日の救急外来を受診することはお避けください。救急診療に影響が及ばないよう、適切な利用にご協力ください。

検査結果が陰性になった場合

○判定が陰性になっても感染を否定するものではありませんので、引き続き感染対策に注意して自宅で安静に過ごしてください。

※体調が良くなるまでの間、配布された抗原検査キットを活用し、定期的に検査を実施していただいてかまいません。

【注意事項】

1. キットは、発症後に使用してください。
2. 使用したキットは、お住いの市町村のキットの処分方法を確認し、適切に処分してください。
3. 使用しなかったキットについて、返却の必要はありません。
4. 温度は2～30℃の範囲内で保管してください。

（参考）濃厚接触者の自宅待機について

- 陽性者との最終接触日（0日）から5日間の自宅待機を行い、6日目に待機解除となります。なお、健康観察は7日間お願いします。
- 同居家族など生活を共にする方の場合、患者の発症日（無症状の場合は検体採取日）または発症後家庭内で感染対策（※）を講じた日のいずれか遅い方を0日目としてください。
※家庭内での感染対策…マスク着用、手洗い・手指消毒、タオル等の共用を避ける、共有部分の消毒等
- 高齢者や基礎疾患のある人との接触や不特定多数の人が集まる飲食等も7日間は控えてください。

ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ～8つのポイント～

(一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変) 令和2年3月1日版

部屋を分けましょう

- ◆ **個室にしましょう。** 食事や寝るときも別室としてください。
 - ・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお勧めします。
 - ・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。
- ◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

- ◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

マスクをつけましょう

- ◆ 使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。
- ◆ マスクの表面には触れないようにしてください。マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆ マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。
(アルコール手指消毒剤でも可)

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

- ◆ こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

換気をしましょう

- ◆ **定期的に換気してください。** 共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ◆ **共用部分** (ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など) は、**薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭き**しましょう。
 - ・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
 - ・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください(目安となる濃度は0.05%です(製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。))。
- ◆ **トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒**しましょう。
 - ・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
 - ・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。
- ◆ **洗浄前のものを共用しないようにしてください。**
 - ・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

- ◆ **体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。**
 - ・糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆ **鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。** その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- ご本人は外出を避けて下さい。
- ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。